

「何が高校生活に豊かさをもたらすのか」

本日をもって、2025年度の学業が終了します。本当にお疲れ様でした。

私自身の1年間を振り返ってみても、生徒の皆さんや先生方が素敵すぎたので、楽しく仕事をする事ができました。心から感謝しています。来年度も、皆さんのために、働いて働いて働いてまいります。

さて、1年間、皆さんの様子を見続けた感想を踏まえ、少し欲張ったリクエストを皆さんにしてみたいと思います。

「今の『本気』は本当にMAXなのか。もっともっと夢中になってみてもいいのではないか」

授業では、難しい問いから逃げるのではなく、もっと本気で考え抜いてみては

学校行事では、集団で力を合わせ、もっと夢中になって取り組んでみては

部活動や課外活動では、高い目標を掲げ、本気で目指してみては

余裕があるなら、いろいろなことに挑戦してみては

せっかく出会ったなら、ぶつかり合いながら、本気で友だちと向き合ってみては

恋愛するなら、ふられて泣くくらい、本気で人を好きになってみては

とはいえ、人は「夢中になろう」と思って、すぐに夢中になれるわけではありません。

だからこそ大切なのは、どんな小さなことでもよいので、まずは行動してみることでないでしょうか。最終的にどのような結果にたどり着くか分からなくても、最初の一步を踏み出す勇気が大切ではないかと、私は考えます。

そんなときに役立つ、最初の一步を後押しするマジック・ワードがあります。

「やってみよう！」です。

「面倒くさい」と立ち止まるのではなく、考えてみよう、やってみようという、最初の思考や行動を呼び起こす不思議な力を持つ言葉です。ぜひ、ご活用ください。

心理学では、時間を忘れて何かに没頭している状態を「フロー状態」と呼びます。このフロー状態に入ることによって、人は創造性や幸福感が高まると言われています。高校生という貴重な時間を過ごす皆さんが、さまざまなことに夢中になり、2026年度の皆さんの高校生活がより豊かなものとなることを、心から願っています。